

6. 面談議事録

面 談 議 事 録

1. JICA ガーナ事務所 3月10日(月) 8:30~10:00

面談者：JICA「ガ」国事務所所長 高畑 恒雄
次長 小淵 伸司
担当所員 晋川 眞

以下の内容について討議を行った。

- ・ 調査団より、今回の基礎調査の目的、背景、経緯、対処方針、今後の予定について
- ・ JICA 事務所より国家森林計画、コモンバスケットについて
- ・ アフリカにおける技術協力について
- ・ 住民参加型の森林造成について
- ・ スンヤニ、クマシの住環境について
- ・ ヴォルタ州の GTZ プロジェクトについて

2. 大蔵省二国間協力局 3月10日(月) 11:00~11:30

面談者：Mr.C.D.Apatu Acting Director External Resources Mobilization
Mr.E.A.Adjetey Officer in charge of Japan, External Resources Mobilization

調査団より、技術協力、今回の基礎調査の目的、背景・経緯、日程の説明をした。「ガ」国側より森林資源管理、農業、生態系保全、普及等が重要であるとの説明があった。また、「ガ」国では、木材の違法伐採、動物捕獲などの問題が生じている中、住民主体の参加型森林管理が必要とされていることの説明があった。

3. 土地林業省 3月10日(月) 15:15~15:50

面談者： Mr.Kasim Kasanga Minister, Ministry of Lands and Forestry, ACCRA
Mr.Thomas Brohi Deputy Minister, Ministry of Lands and Forestry, ACCRA
Mr.Sanpsoh Aojei Acting Chief Director, Ministry of Lands and Forestry, ACCRA
Mr.Fredja Asyemai Technical Director (Forestry), Ministry of Lands and Forestry, ACCRA
Mr.F.K.Odoom Director, Policy Planning, Monitoring and Evaluation, Ministry of Lands and Forestry, ACCRA
Mr.B.A.Gyamfi Donor Liaison, Forestry Commission
Mr.A.S.K. Boachie-Dapaah Chief Executive, Forestry Commission
Mr.F.S.Amoah Director, Forest Service Division, ACCRA
Mr.John E.Otoo Acting Executive Director, Forest Service Division, ACCRA
Mr.Michel Y.Pentsil Project Officer, Forest Plantation Development Center

Mr.Oheneba A.Agyemang	Acting Director, Resource Management Support Center, KUMASI
Mr.M.O.Abebrese	Director and Operation, Forest Service Division

調査団より、技術協力、今回の基礎調査の目的、背景・経緯、日程の説明をした。土地林業省大臣より、「ガ」国でも造林事業に力を入れている旨の説明があった。また、Oheneba A.Agyemang 氏より大臣に対して、1997年から1999年にかけて、開発調査「移行帯地域森林保全管理計画調査」が行なわれ、2001年4月から2003年3月まで JICA 個別専門家「移行帯地域森林保全管理」として寺川専門家が活動されたことの説明があった。また、苗畑整備等に関する無償資金協力「造林機材強化計画」の要請を2002年に提出したが、他案件との関係で案件の採択に至らなかったことの説明があった。

4. コア・グループ 3月10日(月) 15:50~17:00

面談者：	Mr.Fredja Asyemai	Technical Director (Forestry), Ministry of Lands and Forestry, ACCRA
	Mr.F.K.Odoom	Director, Policy Planning, Monitoring and Evaluation, Ministry of Lands and Forestry, ACCRA
	Mr.B.A.Gyamfi	Donor Liaison, Forestry Commission
	Mr.A.S.K. Boachie-Dapaah	Chief Executive, Forestry Commission
	Mr.F.S.Amoah	Director, Forest Service Division, ACCRA
	Mr.John E.Otoo	Acting Executive Director, Forest Service Division, ACCRA
	Mr.Michel Y.Pentsil	Project Officer, Forest Plantation Development Center
	Mr.Oheneba A.Agyemang	Acting Director, Resource Management Support Center, KUMASI
	Mr.M.O.Abebrese	Director and Operation, Forest Service Division

ワークショップの中でのプロジェクト対象地(ターゲットエリア)は、Nsemere、Tani I、Tani II、Sawsaw、Yaya の5つの森林保全区(Forest Reserve)と周辺の非森林保全区(Off Forest Reserve)であることをコア・グループのメンバーに確認した。また、コア・グループのメンバーより狩猟等を目的とした野火が森林保全区内外の両者で問題となっていることが指摘された。なお、野火に関しては、地域住民の生計、暮らしを考える必要があるとのコメントがあった。なお、今後、プロジェクト対象地の森林管理における問題点を抽出し、その現象を視察することが重要であり、それによって、JICA の協力の方向性を検討する必要性があることを説明した。

また、3月16日(日)と17日(月)のサイト調査の日程に関して、打合せをした。コア・グループのメンバーより、北部サバンナ帯から移行帯及び南部高木林帯までを視察してもらうことによって、「ガ」国の多様な生態的植生の移り変わりを見て欲しいとの要望があった。その結果、3月16日(日)のサイト調査地は、北部サバンナ帯の Buipe、移行帯からサバンナ帯への移行地域で薪炭材の生産が盛んに行われている Kimtanpo、3月17日(月)は、BA 州

Naja David 製材工場、南部高木林帯の Onuem Nyamebe 森林保全区及び Subri 森林保全区を視察することとなった。

5. 世銀 3月11日(火) 14:15~15:10

面談者：Mr.Edward F. Dwumfour Natural/Environmental Resource Management
Specialist

調査団より、今回の基礎調査の目的、背景・経緯、日程の説明をした。

世銀担当者より、天然資源管理計画(The Natural Resources Management Program : NRMP) について以下のような説明があった。

NRMP は、1999年-2009年（フェーズⅠ：1999-2000、フェーズⅡ：2001-2004、フェーズⅢ：2005-2009）まで計画されている。NRMP は、森林・野生生物につき「ガ」国森林行政全体に関わる構造改革プログラムで、世銀、地球環境ファシリティ、EU、イギリス、オランダからの拠出金約30億円によって実施されている。目的は、①実効的な森林行政の確立、②組織再構築、③共同資源管理（参加型森林管理）の実現である。

フェーズⅠの具体的な計画としては、高木林帯における住民参加型森林資源管理、北部地域を中心とするサバンナ帯における資源管理（地域住民の動員及び水源管理）、高木林帯(29の生物多様性森林保全区地域)における生物多様性保全及び森林保護、野生生物の管理、プログラムの調整と財政管理等である。

NRMP 実施上における主な問題点としては、関係省庁間の横の連携が十分とれていないことが挙げられる。また、モニタリングが十分できないため、政策にフィードバックできない、ドナー間の連携が弱い点等も問題として挙げられる。

今後の計画として、フェーズⅡでは、流域管理、湿地帯の資源管理等を行っていく予定である。また、野火管理の拡大及び北部地域の森林劣化地域における広範囲での造林の実施を計画している。

NRMP の活動は、行政管理能力の向上に重点が置かれており、主に事務処理改善のための各種トレーニング実施、木材伐採の追跡調査システムの策定、州森林局・森林事務所棟の建設、各種車両の供与等である。

NRMP の一環として、造林振興センター（Forest Plantation Development Center:FPDC）が、1999年12月に設立された。主要業務は、民間（個人・企業）による造林振興のため、造林地の斡旋、情報提供、技術指導、種子の提供等である。

6. オランダ大使館 3月11日(火) 15:30~16:30

面談者：Mr. Andre C. Vermeer First Secretary, Environmental Advisor

調査団より、今回の基礎調査の目的、背景・経緯、日程の説明をした。

オランダ大使館担当者より、現行プロジェクトに関して以下の説明があった。

主なプロジェクトは、野火防止プロジェクト及び造林地開発プロジェクトである。プロ

プロジェクト目標は、火災による森林劣化の防止と経済的、社会的及び環境からの利益の喪失を回復させることである。

プロジェクト目標は、住民参加型の効果的な方法で野火を防止し、コントロールすることである。また、これは永久に持続的な野火の防止、探知及び抑制を実施するためのプログラムである。

期待される成果は、①野火のリスクに対する知識及び警戒システムが実施される、②農業における火入れの役割が理解され、改善されたシステムが機能する、③野火発生率の防止の為にインセンティブが確立される、④防火帯が確立される、⑤効果的な野火防止とコミュニケーションシステムが確立される、⑥森林周辺のコミュニティにおける活発な野火抑制が増加する、以上6点である。

野火防止プロジェクトは、6年間の計画で、予算は160万ユーロである。

各プロジェクト実施にあたっての問題点は、ドナー間の連携が取れていないこと、「ガ」国側の省庁間の協調がないことなどである。例えばNRMPでは、当初土地林業省と食料・農業省等が連携してプログラムを実施する構想であったが、最終的に土地林業省のみが実施機関となった経緯がある。なお、野火防止プロジェクトは、徐々に縮小してきている。その主な原因は、土地林業省の中での実施が難しい点、資源管理支援センター（Resources Management Support Center:RMSC）のキャパシティを考えると、経費が超過しているという点にある。

今後の方向性としては、地域住民と政府のニーズを綿密に調査する必要があると思われる。

7. 英国国際開発局 (Department for International Development : DfID)

3月11日(火) 16:45~17:50

面談者：Mr.Matthias Rhein

Team Leader

調査団より、今回の基礎調査の目的、背景・経緯、日程の説明をした。DfID担当者より以下の説明があった。

森林セクター開発プロジェクトフェーズ2 (FSDP II) は、「ガ」国林業委員会と DfID によって実施されている公共セクターの改善プロジェクトである。プロジェクトは、2000年の4月に開始され、2005年3月に終了の予定である。DfID は、FSDP II を通して、林業委員会 (Forestry Commission : FC) の造林地開発戦略の準備を実施してきており、国家政策の目標として挙げられる貧困削減、グット・ガバナンス、持続的な自然環境について検討してきた。

造林開発戦略として、最初に取り組まなければならないのが貧困削減である。貧困削減についての戦略的な前提条件は、農家と森林保全区のコミュニティメンバーが森林保全区の機能回復と管理によって確実に利益を得ることである。これは、林業委員会と資源保持者が森林保全区を共同管理するためのサポートを通して達成されるものである。

プロジェクトにおける問題点は、ワークショップ等に現地職員が参加した場合、1回のワークショップ参加により、1ヶ月分相当の給料が職員に支払われ、予算的に経費がかさむことである。また、人口の約50%が、森林からの恩恵を受けて生活しているが、造林を行って、樹木が生育するまでには、かなりの年月がかかるという点である。

現段階では、FSDPのフェーズ3は実施しない予定である。

8. 造林振興センター(Forest Plantation Development Centre : FPDC)

3月12日(水) 12:00 ~ 12:45

面談者 : Mr.Michel Y.Pentsil

Project Officer

調査団より、今回の基礎調査の目的、背景・経緯、日程の説明をした。担当者より、以下の説明があった。

FPDCは、民間(個人・企業)による造林振興のため、植栽地の斡旋、情報提供、技術指導、種子の提供等を行うことを主要業務としている。また、FPDCは、造林したい企業と、地域で造林や森林管理に関わる住民(組織)とを結びつけることで造林を促進し、ひいては、木材資源の再生産や地域の貧困削減を目指している。NRMPの一環として、1999年12月に設立され、プロジェクト期間は10年とされている。

「ガ」国全体で、国家造林開発計画の下、毎年2万haの造林計画があるが、造林事業は、FSDと連携して実施しており、昨年の造林面積は、17,650haである。主な造林木は、ユーカリ、チーク、セイバ、マホガニー等である。

5つの州(BA州、アシャンテ州、イースタン州、北部州、アッパー・イースト州)の森林保全区内における造林事業のための利益分配枠組み委員会(Benefit-Sharing Framework Committee)が、FPDCによって2002年に設立された。関係者は、地元住民、郡議会(District Assemblies)、森林周辺コミュニティ、農民、森林官である。委員会は、土地林業省の森林政策評論委員会(Forest Policy Review Commity)に劣化した森林保全区内における造林事業のための利益分配枠組みについて実施計画書案を提出した。森林保全区内における商業目的及びタウンヤ方式による造林開発の実施計画書は、FPDCが作成した。また、土地林業省とFAOの出資によってFPDCが2002年10月30日にワークショップを行った。

FPDCは、木材工業訓練センター(WITC)の一部を間借りしており、職員数6名、年間活動予算は約100,000ドル(2002年の実績では、総支出が約6億387万セディス(約7万220ドル)である。なお、FPDCは、NRMPの参加型森林管理プロジェクトの中で造林計画を実施するに際して、スタッフの不足が問題となっている。

9. 「ガ」国森林研究所(Forest Research Institute of Ghana :FORIG)

3月12日(水) 14:00 ~ 14:30

面談者 : J.R Cobbinah Ph.D

Director

調査団より、今回の基礎調査の目的、背景・経緯、日程の説明をした。所長より、以下

の説明があった。

FORIG は、1962 年に旧森林局の研究部門として発足し、1964 年に「ガ」国科学協会の傘下に移って林産研究所となり、その後、1992 年に科学産業研究審議会(Council on Scientific and Industrial Research: CSIR)傘下の研究機関として「ガ」国森林研究所に改名された。FORIG の権限は、「ガ」国の森林資源の持続的管理と利用に関する研究を確実に実施し、研究結果とサービスを広めることである。

FORIG の職員数は、研究者 47 名、シニア技術・管理職員 59 名、サポート職員 183 名、総計 289 名である。主な研究プログラムは、①天然資源管理、②造林地開発、③木材加工と利用、④非木材林産物の 4 分野である。

① 天然資源管理プログラム：天然更新、天然林と劣化土壌のメンテナンス、生物多様性保全のための技術開発である。この計画によって開発された技術及び成果は、以下のとおりである。

- ・ 持続可能な木材伐採の強化
- ・ 木材樹種の伐採可能な胸高直径
- ・ 在来種の天然更新のために生態生理学的に要求されるもの
- ・ 荒廃した森林の緑化
- ・ 鉱山サイトの緑化
- ・ コミュニティ林及び神聖な林の森林管理計画
- ・ 流域の回復

② 造林地開発プログラム：在来種と外来種の造林管理の確立を目的とする。この計画によって開発された技術及び成果は、以下のとおりである。

- ・ 造林のための改良された種子及び苗木の開発
- ・ Wawa(*Triplochiton scleroxylon*)、Odum(*Milicia excelsa*, *M.regia*)、Kusia(*Nauclea dederingii*) の接木・挿し木技術の開発
- ・ 最適条件下での森林樹種成長のための造林技術の試験（植栽間隔、間伐、施肥等）
- ・ 造林対象地に適した樹種の選定と造林技術の確立
- ・ 経済的価値のある造林地の確立
- ・ 森林害虫駆除のための戦略
- ・ 苗畑管理技術

③ 木材加工と利用プログラム：「ガ」国の木材資源林からの生産物開発と加工技術の開発を目的とする。この計画によって開発された技術及び成果は、以下のとおりである。

- ・ 樹木の乾燥と防腐計画
- ・ 在来種のパルプ・紙生産のための技術開発
- ・ 多くの樹種に関する物理的、機械的、細胞組織学的機能

- ・ あまり利用されていない樹種の開発と推進
- ・ 色々な樹種の複合工場生産物の適性
- ・ 木材ジョイントの技術

④ 非木材林産物 (NTFP) プログラム：非木材林産物の管理、生産、加工、利用の開発及び生物多様性保全を目的とする。この計画によって開発された技術及び成果は、以下のとおりである。

- ・ カタツムリの養殖
- ・ 養蜂
- ・ きのこと栽培
- ・ 植物から抽出した殺虫剤の開発
- ・ 抽出物 (染料、タンニン、殺虫剤、ゴム)

FORIG は、数地域を商業化することによって予算の 30%を算出している。これらの地域は、改良種子及び苗木、コンサルタント業務、契約による研究、研究による生産物の販売を含んでいる。その他、研修ワークショップを通じた技術移転も行っている。

また、FORIG は、「ガ」国国内、アフリカ、ヨーロッパ、北アメリカの研究機関と交流がある。ITTO が主な援助機関であり、森林劣化の激しい地域の住民への支援等を行っている。また、天然資源管理計画 (The Natural Resources Management Program : NRMP)で使用される種子の 80%が FORIG の種子採取園から供給されている。

10. 資源管理支援センター (Resources Management Support Center:RMSC)

3月12日(水) 16:00~17:30

面談者：Mr.Oheneba A.Agyemang	Acting Director
Mr.Kawadowo Roaiteng	Manager, Plantation Team
Mr.Eric Ashong	Office Manager, Administration

調査団より、今回の基礎調査の目的、背景・経緯、日程の説明をした。センター長より、以下の説明があった。

RMSC は、アシャンテ州「ガ」国第二の都市クマシ市 (アクラ市から 270Km の地点) を拠点としている。技術職員数は、54 名 (男性:49 名、女性 : 5 名)、管理部門職員数は、87 名(男性:79 名、女性 : 8 名)である。

RMSC は、全社会への利益のために出資者と協力して森林・野生生物管理を開発し、その結果のモニターを行う機関である。また、森林サービス局 (FSD) の技術的な部門を担当しており、「ガ」国の効果的な森林管理に関しての現地調査、開発、促進、制度化、モニタリングについて責任を有している。

主な目的は、RMSC の作業能力の向上、作業の合理化、森林管理計画の整備を促進する

ためのサポートを促進すること、RMSC への歳入を獲得することである。

主な活動は、①「ガ」国の森林と野生生物の状態をモニターし報告すること、②森林局を助力し、森林と野生生物に対する管理計画を作成すること、③効果的で効率よく森林と野生生物の管理を行うこと、④森林と野生生物の管理システムの実施をモニターすること、⑤森林・野生生物の政策策定をサポートすること、⑥森林・野生生物管理システムの統合実施のため、林業委員会(FC)の作業を援助すること、⑦FC 及び他の機関への研修サポートを提供すること、⑧地域及び国際的な技術交流を図ること、⑨自己財源を創出して FC に貢献することである。

RMSC の技術部門は、①環境・保全部、②森林情報システム部(調査、デジタル地図、リモートセンシング及び GIS ユニット、測定ユニット、コンピューターユニット)、③共同森林管理部、④生産部、⑤造林部の 5 部門からなる。

RMSC は、情報サービス部、森林資源サービス部及び関係者サービス部の 3 つの部に分かれている。情報サービス部は、森林資源及び野生生物に関する情報を収集、蓄積、普及している。森林資源サービス部は、森林野生生物管理の改善のための現地調査によって技術システムの開発を実施している。関係者サービス部は、関係者にサービスを提供するための現場作業によって持続的な開発を実施している。

11. Regional Coordinating Council 3月13日(木) 9:40~10:10

面談者：Mr. Yawv Adjei Duffow Deputy Regional Minister
Mr. David B. Akuffo Director

調査団より、今回の基礎調査の目的、背景・経緯、日程の説明をした。州知事より、BA 州では、野火が大きな問題となっていることの説明があった。調査団より、野火に関する情報はワークショップで確認することを説明した。

12. BA 州スニヤニ郡森林サービス局 3月13日(木) 10:15~11:00

面談者：Mr. Kwakye Ameyaw Brong-Ahafo Regional Manager
Mr. Yakubu Mohammed Sunyani District Manager
Mr. Samuel Effah Regional Plantation Officer

調査団より、今回の基礎調査の目的、背景・経緯、日程の説明をした。担当者より、以下の説明があった。

BA 州には、21 の森林保全区が存在するが、森林地帯の約 55% で野火が発生しており、野火が大きな問題となっている。野火の原因としては、ハンターやブッシュミートを捕獲するための放火、焼畑等が挙げられる。

貧困削減のために、寺川専門家は、参加型造林手法のワークショップを開催するなど、住民参加型の森林施業、養蜂等について農民に対し、キャパシティ・ビルディングを実施してきており、その成果がでてきている。

今後も森林コミュニティに対する教育が必要であると思われるため、農民の生活改善

プログラムの推進を希望する。また、薪炭材についての研修も必要だと思われる。

なお、貧困削減に対し、造林事業は、樹木を植栽してから伐採まで 15 年から 20 年の歳月がかかるため、貧困削減対策としては長期間を要するという点が懸念される。

なお、技術協力のコンポーネントは、専門家の派遣、研修生の受け入れ及び機材供与であり、施設の提供は、実施機関の負担事項であることを説明した。

13.再生可能天然資源大学(Collage of Renewable Natural Resources: CRNR)

3月13日(木) 11:15~12:00

面談者：Mr.Lawrence B.Antwi Principal

調査団より、今回の基礎調査の目的、背景・経緯、日程の説明をした。学長より、以下の説明があった。

CRNR の前身は、技術者の養成を目的とする林業学校 (Forestry School) である。林業大学は 1999 年の組織改変による FSD の人材需要の変化に伴い、単科大学として再建された。以来、2001 年 6 月には 29 人が卒業し、それぞれ林業分野の技術職員、林業会社へ就職している。現在、CRNR には、8 人の常勤職員と 2003 年から VSO ボランティア 1 名がおり、125 人の学生が勉学に勤しんでいる。ディプロマプログラムは、自然資源管理、育林、アクアカルチャー、アグロフォレストリーと木材科学、野生生物等がある。なお、CRNR は、林業委員会が資金援助を行っている。

CRNR の苗畑は、苗木 8 万本/月を生産し、その苗木は、NGO や樹木を育苗する個人等に供給されている。また、苗畑では Tani-II 森林保全区への造林用苗木を供給している。3ha の苗畑では、最大 200 万本の苗木生産が可能である。

1997 年に開始された CRNR 造林プログラムは、Tani-II 森林保全区で 300ha の劣化地域に住民参加型の造林を実施した。農民は、造林地に農作物を栽培し、販売することによって資金を得ている。

14 .GTZ 定住農業普及プロジェクト(Sedimentary Farming Systems Project Brong Ahafo Resion) 3月15日(土) 16:00~17:00

面談者：Dr.Heinz Loos Agronomist/Team Leader
Ms.Lita Weidinger Agricultural Socioecononist /Agricultural Services
Mr.Atta Agyepong Desk Officer
Ms.Evelyn Gyamfi Officer

調査団より、今回の基礎調査の目的、背景・経緯、日程の説明をした。Sedimentary Farming Systems Project Brong Ahafo Resion の チームリーダー及びスタッフより以下のとおり説明があった。

定住農業システムプロジェクトは、1996年に10年間の計画で開始された。年間の予算は、56万ユーロである。プロジェクトには、3人の長期専門家、1~2人の現地専門家、4人の

現地ジュニア専門家、3人のボランティア（地域レベルで活動）が活動している。

自然生態系を破壊する焼畑等の土地利用システムは、人口増加と土地への圧力で持続性を保持できなくなってきた。短期間の休閑では、土壌の天然肥沃化は不可能であり、野火の多発は、多大な土壌劣化を引き起こした。自然資源と生産物は、危機に瀕している。このような状況の下、「ガ」国政府は、持続可能な定住農業システムの推進を目的にプロジェクトを実施している。また、「ガ」国政府は、上位計画である「Vision 2020」の貧困削減戦略に沿った事業としてプロジェクトを位置づけている。

プロジェクトは、既存の方法とは全く別の土地利用と生産システムを広めることを目的に、農民、食糧・農業省及びNGOと協力している。保全農業のコンセプトは、適切な農作物のローテーション、土壌を覆う農作物と動物の堆肥を駆使した改良短期休閑システムを通して、改良された有機土壌管理が推進されている。

ターゲットグループは、BA州の中小規模の農民であり、特に森林地帯、移行帯及びサバンナ帯の3つの地域（Asunafo, Sunyani, Atebubu）に絞ってプロジェクトを実施している。実施機関は、食糧・農業省の地方農業開発ユニット（Regional Agricultural Development Unit）である。また、プロジェクトの調整と現地活動のモニタリングは、郡議会（District Assemblies）と連携してプロジェクトチームが実施している。

なお、プロジェクトは、参加型技術開発と普及によって実施されている。食糧・農業省の地方支部には、最低20人の普及員がいるため、JICAの林業分野での協力も、GTZとの連携を考慮に入れ、食糧・農業省の普及員の協力の下、参加型森林保全の普及事業を推進することの可能性を確認した。農民は、現在、シトラスやマンゴーなどの果樹を造林しているに過ぎない状況である。

また、リモートセンシング等の高価な機材に関しては、GTZのチームリーダーよりJICAとの共同購入の提案があった。

15. Naja David 製材工場 3月17日(月) 10:45~11:30

面談者：Mr.Nassib Hage Field of Transport/Forest Operation

調査団より、今回の基礎調査の目的、背景・経緯、日程の説明をした。担当者より、以下の説明があった。

製材工場は、3つの工場から構成されており、木材生産量は、毎月2000~3000 m³、合板生産量は、毎月3000~4000 m³である。また、2030年までの有効な伐採権を3箇所保持している。伐木は、森林保全区と森林保全区外の両方で行っており、商業伐採用の樹種は、約240種である。製材、ベニア、突き板、フィンガージョイント製材等は、韓国やヨーロッパ等全世界に輸出している。技術的問題点は、使用機材の性能に起因する木材の歩留まりが、日本と比較して大変低いことである。

力の内容について絞込みを行うことを「ガ」国側に説明した。なお、技術協力のコンポーネントは、専門家の派遣、研修生の受け入れ及び機材供与であることを確認した。

「ガ」国側が作成した PDM 案は、そのまま技術協力プロジェクトに当てはめることはできないことを「ガ」国側に説明した。なお、「ガ」国側は、造林を中心にし、郡事務所レベルでのプロジェクト形成を行ってほしい旨、申し入れがあった。

なお、コア・グループのメンバーより、以下のコメント、質問があった。

- ・ 北部地域では、農民が炭焼きを始めるようなことがあると問題が生じると思われる。
- ・ 森林管理を行うにあたり農民が自分の土地を持っていない等土地システムで問題が生じると思われる。
- ・ 違法伐採は、政策に関係するので林業委員会（Forestry Commission）に報告する必要があると思われる。
- ・ どの分野に重点を置いて JICA が協力するかの絞込みをすべきである。
- ・ 薪炭材生産に必要な樹種を造林することは、JICA の技術協力として可能であるのか。
- ・ JICA の技術協力として、普及、住民参加型森林管理及び造林を希望している。
- ・ 薪炭材生産者に対して研修を行なうために JICA に研修施設を建設して頂きたい。
- ・ 他ドナーの動向は、DfID が自然林の管理、GTZ がヴォルタ州の森林管理を行っているところ、JICA には、野火と森林劣化が問題となっている移行帯で技術協力を行って頂くことは非常に重要である。
- ・ パイロット郡（Pilot District）を選定して造林に焦点を絞ったプロジェクトにして頂きたい。
- ・ 生物多様性保全等を含む全体的なプロジェクトは可能であるか。
- ・ ソーラーパワージェネレーションは、協力に含めることができるか。

上記質問に対して、以下のとおり回答した。

- ・ 基礎調査は、プロジェクトの絞込みをするための情報収集を行うことが目的であり、絞込みは、今回の調査で得た情報を十分国内で解析し、事前評価調査団で行うことになる。事前評価調査団は、なるべく早期に派遣できるよう検討したい。
- ・ 研修施設は、無償資金協力事業であるため、技術協力のスキームとは別である。
- ・ ソーラーパワーでエネルギーを供給する考えは、良いと思われるが、技術的な制約が発生すると思われる。ソーラーパワージェネレーションをプロジェクトで採用するかどうかは、現段階ではわからない。
- ・ 生物多様性保全等の全体的なプロジェクトにするか否かの前に、対象地域を絞り込む必要があると思われる。
- ・ 他ドナーが実施しているプロジェクト重複がないようにしたい。
- ・ 「ガ」国側の考えるキャパシティ・ビルディングには、資金、車両等全てを含んでいるが、技術協力では協力対象外のものが多いことを考慮して頂きたい。

19. スンヤニ郡 郡議会 (District Assembly)

3月27日(木) 14:00 ~ , 28日(金) 9:00 ~

面談者 : Ms. Serah Alebna	District Coordinating Director
Mr. Yaw Kankam -Adjei	Deputy District Coordinating Director
Mr. F. A. Agyapong	District Finance Officer

郡 (District) は「ガ」国の地方行政の中核を担う行政単位である。郡の行政事務は郡議会事務局 (Office of the Assembly) により行われる。郡議会事務局には、郡知事の下に郡調整長官 (District Coordinating Director) と副長官が置かれる。事務局の構成はスンヤニ郡の例を取れば、財務部、衛生部、土木部、計画・調整部の 4 部署である。州レベルと同様、省庁の郡事務所は郡議会事務局の指揮下にはないが、郡議会のセクター別作業部会に省庁の郡事務所代表が参加するなどしてセクターの開発計画と郡の開発計画の調和化を図っている。

野火の防止については、スンヤニ郡では、郡議会が関連機関の調整を行っており、郡独自の条例を發布するなどの取り組みも見られる。2002 年に發布されたスンヤニ郡の条例では、野火について国の法令よりも厳しい罰を与えている。関係者の聞き取り調査によれば、野火防止に対するこの条例の効果は大きい。

20. GTZ 森林保護・資源利用管理プロジェクト (Forest Protection and Resource Use Management Project: FORUM) 3月31日(月) ~ 4月1日(火)

面談者 : Mr. James Klare Kautayel	Forest District Officer, Ho
Mr. Joachim Jassmeier	Forestry Advisor, Off-Reserve and Woodlot Component (German Development Service: DED)
Mr. Niels Krehan	Forestry Advisor, DED
Mr. Christian Staiss	Forestry Advisor, DED
Mr. E. K. Kudiabor	President, VORAFMAC
Mr. Petra Schaedlich	Agricultural Advisor, DED
Mr. M. O. Kopf	CFM Coordinator, FC
Mr. H. Schuste	GTZ Team Leader
Mr. Gabriel Osei Ayamfi	Assistant Regional Manager, FSD Volta Region
Mr. Winfred E. K. Bimah	Regional Manager, FSD Volta Region
Mr. Foster Npame-Gyau	Range Supervisor
Ms. Marianne Link	Forestry Advisor, GTZ

FORUM プロジェクトは GTZ、KfW、DED の支援によりヴォルタ州で実施されているプロジェクトである。1993 年に開始され、オリエンテーション・フェーズ (1993-1996 年)、第 1 実施フェーズ (1996-2000 年) を経て、現在第 2 実施フェーズ (2000-2005 年) に入っている。プロジェクトの総予算は借款が 1,000 万 DM、無償資金が 1,500 万 DM である。プロジェクト目標は地域住民、その他の森林利用者および FSD がヴォルタ州の森林資源を、より経済的・生態学的に持続性の高い方法で利用することである。現在実施されているプ

プロジェクト・コンポーネントは (1) 保全林の回復、(2) 共同森林管理戦略の開発、(3) 小規模私有・共有造林 (Private and Communal Woodlot)、(4) バッファゾーン開発 (所得創出活動)、(5) FSD および食料・農業局職員の能力強化、の 5 つである。主カウンターパートは州森林局 (とその指揮下の郡森林事務所) であり、上記 (4) のコンポーネントは食料・農業局がカウンターパート機関となっている。

FORUM のこれまでの活動は、主に保全林を対象としてきた。当初計画では第 2 実施フェーズの後、プロジェクトの整理・統合を行う最終フェーズ (2005-2008 年) に移る予定であったが、現在保全林外を対象とする新たなコンポーネントを計画中であり、これが承認されればさらに 10-15 年プロジェクトの実施を継続する構想である。

以下、(1) 保全林の回復と (2) 共同森林管理の概要をまとめる。

保全林の回復コンポーネントには、森林資源調査から始まり、管理計画策定、実施 (整地、苗木生産、植林、手入れ)、防火帯設置、野火パトロールなど一連の活動が含まれる。農民は計画策定に参加する他、実施作業に従事し、消防ボランティアも組織する。作業に関してはプロジェクトから労賃が支払われる。また、コミュニティーが担当する地域内で 1 年間野火が発生しなかった場合、550 万セディスがコミュニティー開発資金として支払われることが、住民の大きなインセンティブとなっている。なお FORUM では、1994/1995 年にかけてタウンヤ式による植林を実施したが結果は芳しくなく、現在はタウンヤ式を取り入れていない。

共同森林管理コンポーネントでは、村落レベルでコミュニティー森林管理委員会 (Community Forest Management Committee : CFMC) が組織されている。組織が法的・社会的基盤を確保するために、CFMC は独自の組織憲章を持ち、郡議会にコミュニティー組織 (CBO) として登録することになっている。CFMC は既に州レベルの上部組織 (Regional Association) も設立しており、組織としての能力強化が進んでいる。共同森林管理コンポーネントでは、これらの現場での活動に加え、共同森林管理を支持する法的枠組みを改善するために、既存の法律、規制、政策に関する研究も進めており、これをもとに法改正の提言をまとめて政府に提出するなどの活動も行っている。

21. 造林振興センター (Forest Plantation Development Centre : FPDC)

3月24日(月)9:00~

面談者 : Mr. Michel Y. Pentsil

Dr. Victor Agyeman

Project Officer

Project Leader, Forest Plantation Development
Center

アフリカ開発銀行

AfDB のコミュニティー森林管理プロジェクト (Community Forest Management Project : CFMP) は、既に AfDB 側の承認は下りており、「ガ」国政府側の承認手続きを経て本年中

に実施に移る予定である。CFMP は 6 年間のプロジェクトであり、総予算は約 1,080 万ドル（うち 840 万ドルが借款）となっている。「ガ」国側実施機関は植林振興センター(本報告書 5.(1)項参照)である。

CFMP のプロジェクト目標は、関係諸機関の能力を強化し、農業生産と木材・非木材林産物生産の向上を実現しながら、荒廃した保全林を回復することである。プロジェクトは (1) 総合森林管理、(2) 持続的生計支援スキーム、(3) キャパシティービルディング、(4) プロジェクト管理、の 4 コンポーネントから構成される。活動内容には、住民による苗畑設立・植林や野火防止の支援、所得創出活動の導入、農業生産活動支援、農業生産物貯蔵・マーケティング支援、支線道路の修復、ガーナ森林研究所 (FORIG) の苗木生産能力向上、土地林業省や食料・農業省職員の訓練などが含まれる。

CFMP は保全林をプロジェクト対象地域の単位としており、計 6 つの保全林が対象地域として特定されている。ブロン・アハフォ州からはヤヤ保全林 (Ya Ya Forest Reserve) が対象地域となっている。

22. ブロン・アハフォ州 州議会 (Regional Coordinating Council: RCC)

3月25日(火)10:00~

面談者：Mr. Yawv Adjei Duffow

Deputy Regional Minister

Mr. David B. Akuffo

Director

RCC の主な役割は、政府の政策が州内の各郡において、また各セクターにおいて実施されることを確実にすることである。具体的には、以下の業務が含まれる。

- ・ 州内の郡議会の活動をモニタリング、調整、評価する。
- ・ 州内の郡議会ならびに省庁の予算使途をモニタリングする。
- ・ 州内の公共サービスを見直し、調整を行う。

行政事務の長は州調整長官 (Regional Coordinating Director) であり、その下に州計画・調整部、人事部、行政・財務部、研究・統計・情報部が配されている。各省庁の州レベルの事務所 (Decentralized Departments) も形式上は省調整長官の下にあるが、指示系統ならびに報告責任は基本的には省庁内部 (本部と地方事務所) にあるため RCC の影響力は小さい。

ブロン・アハフォ州では野火の防止と植林を州の重要課題として認識しており、小規模ではあるが主体的な活動を展開している。野火防止の分野では、小額ながら州予算から、消防サービス局への燃料費補助や消防活動機材の提供などを行っている。また、州レベルで構成する野火防止委員会の議長を州大臣が務めるなど、関係組織間の調整役も務めている。植林の分野では、2001 年に RCC 主導でタノ川流域の植林活動を開始し、その実績が認められて 2002 年には中央政府から助成金を得ることに成功している。

23. 英国国際開発局 (Department for International Development : DfID)

4月3日(木) 14:00~

面談者 : Mr.Matthias Rhein

Team Leader

造林開発局の新設

これまで保全林 (Forest Reserve) 内の植林開発事業は、州森林局・郡森林事務所が RMSC の技術的支援を受けて実施するという形で FSD が担ってきたが、その成果は芳しいものではなかった。この現状を改善し、より効果的かつ効率的な植林開発事業の実現するために、FC に新たに造林開発局 (PDD) を設立することが、2003 年 4 月に決定した。PDD は FC の直轄であり、FSD とは独立した部局となる。

PDD には植林事業部門 (Planting Operations) と造林プログラム開発 (Plantation Programme Development) の 2 部門を置かれる構想である。現在 FPDC が担っている業務は、造林プログラム開発部門に吸収される。造林プログラム開発部門の主な役割は、民間投資家への助言と各レベル (特に小規模植林) における訓練プログラムの開発である。他方、植林事業部門の下には 7 つのゾーン管理事務所が置かれ、それぞれ約 5,000 ヘクタールの人工林 (保全林内) を管理する。

PDD の設立により、植林開発事業は FSD から PDD に移譲される方向にある。従って、植林に関連する技術開発・普及 (保全林内の改良タウンヤ式による住民参加型造林を含む) は PDD の業務になると予想される。ただし PDD の設立は決定したばかりであり、人員が配置され、組織として機能するまでには時間を要すると思われる。

この組織改変に伴い、FSD の業務は天然林管理が中心となる。しかしながら保全林の総合管理という意味では、FSD の役割は依然として重要である。保全林における住民参加型森林管理の推進や、これに伴う普及活動などは、引き続き FSD が中心となって実施していくものと考えられる。

本件プロジェクトでは、その活動内容により主カウンターパート機関が FSD、PDD、あるいはその両者となりうる。またプロジェクト策定中 (ならびに実施中) のカウンターパート機関の体制は流動的である可能性が高い。これらの点を鑑み、慎重にプロジェクトの実施体制を検討することが必要とされる。

7. 收集資料一覽

資料リスト

番号	分野	資料名	発行機関または収集先	発行年月	ページ数	オリジナル / コピー別
1	技術ハンドブック	Guide to Tree Planting in Ghana	FORIG	2001	36	コピー
2	計画	Overview of the National Forest Plantation Development Program	Forest Plantation Development Center	2003	8	コピー
3	計画	Structure of the Plantation Development Division	Forest Plantation Development Center	2003	10	コピー
4	計画	National Forest Management Plan (1998-2002)	Forest Services Division	1998	59	コピー
5	計画	Forest Management Unit Working Plan, Asukese Forest Reserve	FSD Brong Ahafo Region	2003	29	コピー
6	計画	Plantation Plan for Brong Ahafo Region (for 2003)	FSD Brong Ahafo Region	2003	8	コピー
7	計画	District Forest Development Plan - Berekum District	FSD Sunyani	-	3	コピー
8	計画	District Forest Development Plan - Sunyani District	FSD Sunyani	-	3	コピー
9	計画	District Forest Development Plan - Wenchi District	FSD Sunyani	-	4	コピー
10	計画	Forest Resources Management Planning: Mini Strategic Plan for Sawsaw Forest Reserve, Sunyani District	FSD Sunyani	-	5	コピー
11	計画	Forest Resources Management Planning: Mini Strategic Plan for Tain I Forest Reserve, Sunyani District	FSD Sunyani	-	5	コピー
12	計画	Forest Resources Management Planning: Mini Strategic Plan for Tain II Forest Reserve, Sunyani District	FSD Sunyani	-	5	コピー

13	計画	Forest Resources Management Planning: Mini Strategic Plan for Yaya Forest Reserve, Sunyani District	FSD Sunyani	-	7	コピー
14	計画	Forest Development Master Plan (1996-2020)	Ministry of Lands and Forestry	1996	31	コピー
15	計画	Sunyani District Medium Term Development Plan	Sunyani District Assembly	2003	-	デジタル
16	産業	Ghana Wood Industry and Log Export Ban Study (Final Report)	Forestry Commission	2001	68	コピー
17	産業	Stumpage/Rent Disbursement Report for January 1st 2002 - June 30th 2002	Office of Administrator of Stool Lands and Forestry Commission	2002	38	オリジナル
18	新聞	"Amend the Constitution"	Daily Graphic 28 Mar. 2003	2003	2	コピー
19	森林概況(州)	A Paper on Forest Conservation in Brong Ahafo Region	FSD Brong Ahafo Region	2003	7	コピー
20	森林資源調査	2001 Multi Resource Inventory of the Ghana High Forest Zone - Timber Resource Inventory (Brong Ahafo)	Resource Management Support Center	2001	19	コピー
21	森林資源調査	Summary Results of the 2001 - Multi Resource Inventory: The Status of Timber, Wildlife and Non-Timber Forest Products in Brong Ahafo	Resource Management Support Center	2003	Brochure	オリジナル
22	森林資源調査	森林資源調査結果概要表(2001年)	Resource Management Support Center	2001	17	コピー
23	森林資源調査	森林資源調査結果概要表(2002年)	Resource Management Support Center	2002	16	コピー
24	政策	Land Policy for Pro-Poor Development: Policy Research Report - A Review	Ministry of Lands and Forestry	2002	11	コピー
25	政策	Ghana Poverty Reduction Strategy 2003-2005	JICA ガーナ事務所より入手	2003	270	コピー

26	政策	Land and Forestry Sector Reforms - Meeting with the National House of Chiefs	JICA ガーナ事務所より入手	2002	23	コピー
27	政策	Cabinet Memorandum by the Minister of Lands and Forestry: Proposal on the Expansion of the National Forest Plantation Development Program	Ministry of Land and Forestry	-	7	コピー
28	政策	Forestry Sector Policy Reforms	Ministry of Land and Forestry	2003	19	コピー
29	戦略	Proposed Plantation Development Strategy: A Summary	DFID/FSDP II	2002	4	コピー
30-1	戦略	Plantation Strategy for Forestry and the Forestry Commission (May 2002)	Plantation Strategy Development Horizontal Working Group, Forestry Commission	2002	12	コピー
30-2		Plantation Strategy for Forestry and the Forestry Commission (Revised version Nov. 2002)		2002	16	デジタル
31	戦略	Collaborative Forest Management Policies and Strategies for the Ghana Forestry Commission	Technical Committee on Collaborative Forest and Wildlife Management Practices in Ghana	2001	13	コピー
32	組織	ブロン・アハフォ州 RCC 組織概要、予算、開発戦略など	Brong Ahafo Regional Coordinating Council	2002	21	コピー
33	組織	ブロン・アハフォ州食糧・農業省の組織概要、予算、開発戦略など	Brong Ahafo Regional Food and Agriculture Office	-	26	コピー
34	組織	Forest Plantation Development Center (Brochure)	Forest Plantation Development Center	2002	23	コピー
35	組織	Forest Plantation Development Center (組織概要)	Forest Plantation Development Center	2003	4	コピー
36	組織	Forest Plantation Development Center - 2002 Annual Activity Report	Forest Plantation Development Center	2003	8	コピー
37	組織	Annual Report: Forest Services Division, Year 2002	Forest Services Division	2003	46	コピー
38	組織	Forest Services Division (組織図)	Forest Services Division	-	1	コピー

39	組織	List of Forestry Districts	Forest Services Division	-	3	コピー
40	組織	A Brief on Forestry Research Institute of Ghana (FORIG)	FORIG	-	8	コピー
41	組織	RMSC Business Plan (SWOT Analysis of RMSC)	Resource Management Support Center	-	4	コピー
42	組織	RMSC 四半期報告 (2002 年第 1 四半期 ~ 第 4 四半期)	Resource Management Support Center	2002	123	コピー
43	組織	資源管理支援センター (RMSC) の組織概要、予算、活動内容など	Resource Management Support Center	2003	20	コピー
44	組織	FSD Sunyani Office Profile / FSD Brong Ahafo Office Profile (Organizational diagrams)	FSD Sunyani FSD Brong Ahafo	2003	2	コピー
45	他ドナープロジェクト	Appraisal Report - Community Forestry Management Project	African Development Fund	2002	55	コピー
46	他ドナープロジェクト	Forest Protection and Resource Use Management Project - Volta Region (FORUM) Draft Plan of Operations	FORUM Project	2003	67	コピー
47	他ドナープロジェクト	FORUM Project Information Package	FORUM Project	2003	大冊子	オリジナル
48	他ドナープロジェクト	Proposed Working Rates FORUM Project 2003 (District Forestry Office Ho + Jasikan)	FORUM Project	2003	3	コピー
49	他ドナープロジェクト	Status of Progress - Establishment of Woodlots in the Volta Region (31/3/2003)	FORUM Project	2003	3	コピー
50	他ドナープロジェクト	Status of Progress - Rehabilitation of Forest Reserves (31/3/2003)	FORUM Project	2003	1	コピー
51	他ドナープロジェクト	Project Data Sheet: Wildfire Management in the Transition Zone	Netherlands Embassy	2002	6	コピー
52	他ドナープロジェクト	Wildfire Management Project in the Transition Zone (Brong Ahafo, Ashanti and Eastern Regions)	Resource Management Support Center	2000	26	コピー

53	他ドナープロジェクト クト	Sedentary Farming Systems Project - Brong Ahafo: Plan of Operations (Jan 2003 - Dec 2003)	Sedentary Farming Systems Project : Brong Ahafo Region	2003	37	コピー
54	他ドナープロジェクト クト	Sedentary Farming Systems Project - Brong Ahafo: Project Brief	Sedentary Farming Systems Project : Brong Ahafo Region	-	5	コピー
55	地図	Locations of Forest Reserves in Brong Ahafo Region	FSD Brong Ahafo Region	-	1	オリジナル
56	地図	Road and Forest Map of Ghana	Resource Management Support Center	-	1	AO サイズ
57	地図	Vegetation Zones of Ghana showing Forest and Game Reserves	Resource Management Support Center	-	1	AO サイズ
58	統計資料	Summary of Annual Plantation Establishment - Ghana	Forest Services Division	2003	1	コピー
59	統計資料	Summary of Timber Production in Ghana (1970-2002)	Forest Services Division	2003	1	コピー
60	統計資料	Presentation at Forest Inventory Resource Workshop, 2002	Resource Management Support Center	2002	-	デジタル
61	統計資料	2000 Population and Housing Census: Special Report on 20 Largest Localities.	Ghana Statistical Service (GSS)	2002	79	オリジナル
62	統計資料	Core Welfare Indicators Questionnaire (1997)	GSS	1997	-	CD
63	統計資料	2000 Population and Housing Census: Main Report (抜粋)	GSS (JICA ガーナ事務所 より入手)	2002	52	コピー
64	統計資料	Ghana Living Standards Survey (抜粋)	統計局 (JICA ガーナ事務 所より入手)	1998/ 1999	170 (全文)	コピー
65	統計資料	Ghana: Positive Change 2002	出版元不明	2003	184	オリジナル
66	発表資料	State of Ghana's Forest Resources: Presentation at FC/RC NGO CONGRESS, October 2002	Forest Plantation Development Center	2002	-	デジタル
67	法令	Forest and Wildlife Policy	Forest Services Division	1994	16	コピー

68	法令	Forestry Commission Act (1999)	Forest Services Division	1999	18	コピー
69	法令	Timber Resources Management (Amendment) Act (2002)	Forest Services Division	2002	8	コピー
70	法令	Timber Resources Management Act (1997)	Forest Services Division	1997	10	コピー
71	法令	Timber Resources Management Regulations (1998)	Forest Services Division	1998	24	コピー
72	法令	Forest Protection (Amendment) Act (2002)	Forest Services Division	2002	4	コピー
73	法令	Forest Protection Decree (1974)	Forest Services Division	1974	4	コピー
74	法令	Forest Ordinance (1927)	Resource Management Support Center	1927	13	コピー
75	法令	Control and Prevention of Bushfire Law (1990)	Resource Management Support Center	1990	4	コピー
76	法令	Forest Plantation Development Fund (Amendment) Bill (2002)	寺川専門家ファイル資料	2002	3	コピー
77	法令	Investment Promotion Centre (Amendment) Bill (2002)	寺川専門家ファイル資料	2002	2	コピー
78	法令	Timber Resource Management (Amendment) Regulation (2002)	寺川専門家ファイル資料	2002	1	コピー
79	法令	Forest Protection (Amendment) Bill (2002)	寺川専門家ファイル資料	2002	3	コピー
80	政策	Draft Report on Equitable Cost and Benefit Sharing in Plantation Development: Public Private and Local Community Partnerships in Ghana.	寺川専門家ファイル資料	-	71	コピー
81	政策	Proposal for the Establishment of a Plantation Development Division for the Forestry Commission.	DfID/FSDP II	2002	31	デジタル
82	計画	National Forest Plantation Development Project – Plantation Sites, Total Area under Plantation and Jobs Created.	Forest Plantation Development Center	-	1	コピー

83	組織	Protecting Our Forest and Wildlife Resources for the Future – The Service Charter of the New Forestry Commission	Forestry Commission	2001	16	オリジナル
84	組織	Country Profile: Ghana – The Local Government System in Ghana	インターネット	-	9	デジタル
85	他ドナープロジェクト	Aid Memoire of the NRMP Implementation / Identification Support Mission, Feb. 5-7, 2003	寺川専門家より入手	2003	18	デジタル
86	政策	Poverty Reduction Strategy for the Forestry Commission	DfID/FSDP II	2003	6	コピー
87	他ドナープロジェクト	Project Appraisal Document of the Natural Resource Management Project	World Bank Ghana Office	1998	41	デジタル
88	他ドナープロジェクト	Project Appraisal Document of the Land Administration Project	World Bank Ghana Office	2003	93	デジタル
89	他ドナープロジェクト	Evaluation of Pilot Community Forest Committees in Ghana	Resource Management Support Center	-	40	デジタル
90	他ドナープロジェクト	Report on Meeting of the Community Resource Management Horizontal Team held at Cape Coast from 27 th -28 th January 2003	DfID/FSDP II	2003	21	デジタル
91	他ドナープロジェクト	Operationalization of CRM in the Forestry Commission: Minutes of Meeting by Horizontal Team and District Managers	DfID/FSDP II	2002	14	デジタル
92	他ドナープロジェクト	Operationalisation of Participatory Forest Management within the Forestry Commission -Strategies for 2003	DfID/FSDP II	-	6	デジタル
93	政策	Progress Made in the Implementation of Sector Policy and Institutional Reforms (Presentation)	MLR(寺川専門家ファイル資料)	2002	7	コピー
94	法令	The Legal Framework of Collaborative Forest Reserve Management in the Republic of Ghana – An Information Brochure	FSD Volta Region	2001	21	コピー

95	法令	Unfavorable Legal Framework Conditions with regard to the Implementation of Collaborative Forest Management	FORUM	-	2	コピー
96	組織	College of Renewable Natural Resources, Sunyani: Project Proposal for Japanese Program – Basic Machines, Materials, Equipment/Tools Acquisition	CRNR	2002	3 (plus 2 Appendices)	コピー
97	他ドナー	Country Assistance Strategy	World Bank Ghana Office	2000	19 (plus Appendices)	オリジナル
98	他ドナー	Ghana and the World Bank	World Bank Ghana Office	2002	45	オリジナル
99	組織	Meet the Ghana Forest Service – Successor Agency to the Forest Department	FSDP (寺川専門家ファイル資料)	1997	16	コピー
100	森林概況(国)	Ghana's Forests – Reporting Progress	Forestry Commission (寺川専門家ファイル資料)	2002	15	コピー
101	ガイドライン	Operational Guidelines on Community Forest (Management) Committees	Resource Management Support Center	2000	26	コピー
102	ガイドライン	Guidelines on Community Boundary Maintenance Contracts in Forest Reserves	Resource Management Support Center	1998	21	コピー
103	他ドナープロジェクト	NRMP Phase II Concept Note	MLF	2003	20	デジタル
104	産業	Opportunity Study of Subri Forest Plantations in Ghana – Early Impressions	Subri Industrial Plantation Co. Ltd.	1998	9	コピー
105	産業	Performance Indicators and Targets Expand Hectrage Under <i>Gmelina Arborea</i>	Subri Industrial Plantation Co. Ltd.	-	1	コピー